

平成29年12月12日

平成29年第3回神奈川県議会定例会

# 県民・スポーツ常任委員会報告資料

ス ポ ー ツ 局

1	ラグビーワールドカップ2019™及び東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた主な取組み等について……………	1
2	県の負担金を財源とする補助金に係る神奈川県レスリング協会による不適正経理処理について……………	9

# 1 ラグビーワールドカップ2019™及び東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた主な取組み等について

## (1) ラグビーワールドカップ2019™に向けた主な取組み

### ア 経過

共同開催都市である県と横浜市は、ラグビーワールドカップ2019組織委員会（以下「組織委員会」という。）と会場整備や開催準備に係る協議、調整を実施している。

あわせて、県では、県内市町村、企業等と連携し、ラグビーワールドカップ2019™の周知やラグビーの普及など、全県での機運醸成に向けた取組みを展開している。

また、平成29年5月10日には、ラグビーワールドカップ2019™予選プールの組合せが決定し、11月2日には、試合日程が発表された。

なお、11月4日に横浜国際総合競技場に誘致した「日本代表対オーストラリア代表」戦では、43,621人が来場し、これまで国内で開催された日本代表戦観客数の最高記録となった。

### イ 会場整備・開催準備の取組み

ラグビーワールドカップを主催しているワールドラグビーから大会運営を委託されている、ラグビーワールドカップリミテッド（RWCL）及び組織委員会による視察や現地調査等を踏まえ、交通・警備などの会場整備やファンゾーン（※）及びボランティアに係る運営計画策定に向けた協議を行っている。

※ ファンゾーン：大会期間中に、開催都市等に設置されるイベントスペース

### ウ 普及啓発・機運醸成の取組み

#### (ア) 横浜市との共同事業

平成29年度は、横浜国際総合競技場では初のラグビー国際試合となる日本代表対オーストラリア代表戦の誘致や、パブリックビューイング、大会2年前イベント、決勝戦2年前イベントなどの事業を実施してきた。

#### <平成29年度実績・実施予定>

主な事業	日程	開催場所
パブリックビューイング	5月20日（土） （約200人）	ヨコハマNEWSハーバー （スーパーラグビー中継）
	6月10日（土） （約500人）	クイーンズスクエア横浜 （日本代表戦中継）
小学校への出前授業	6月13日（火）から 計18回（実施予定含む）	横浜市内小学校（18校） ※11月時点で11校が実施済み
ストリートラグビー体験	9月16日（土） （約300人）	象の鼻パーク （ベトナムフェスタin神奈川で実施）
大会2年前イベント 開催都市特別サポーター （神奈川・横浜）委嘱式（※）	9月18日（祝） （約1,500人）	MARK IS みなとみらい、グランモール公園
日本代表戦の誘致	11月4日（土） （43,621人）	横浜国際総合競技場 （日本代表対オーストラリア代表戦）
決勝戦2年前イベント 横浜ラグビーカーニバル	11月4日（土） （約5,000人）	横浜国際総合競技場周辺

注 「日程」中に記載した人数は参加者数

※ ラグビーワールドカップ2019™開催都市特別サポーター（神奈川・横浜）〈五十音順〉

- 鈴木 彩香 氏（女子ラグビー日本代表選手）
- 林 敏之 氏（元男子ラグビー日本代表選手）
- 吉田 義人 氏（元男子ラグビー日本代表選手）

(イ) 全県での取組み及び横浜市以外の市町村や企業等と連携した取組み

平成29年度は、新たに県内大学との連携、市町村や企業との連携の拡充、県内の様々なイベント等でラグビーワールドカップPRブースを出展するなど、普及啓発活動を実施してきた。

今後は、初心者向けラグビートップリーグ観戦バスツアーなどを実施していく予定である。

〈平成29年度実績・実施予定〉

主な事業	日程	開催場所
東海大学ラグビー部 「丹沢祭」	7月9日（日） （約1,000人）	東海大学湘南キャンパスラグビー場 （大学との連携：東海大学）
ストリートラグビー体験	8月27日（日） （約1,000人）	小田原城址公園 （市町村との共同事業：小田原市）
親子ラグビーバスツアー	10月7日（土） （70人）	東京ガス大森グラウンド （企業との連携：東京ガス(株)神奈川支社）
親子ラグビー合宿	10月14日（土）～ 10月15日（日） （45人）	星槎箱根仙石原スポーツクラブグラウンド （総合型スポーツクラブとの連携：星槎箱根仙石原総合型スポーツクラブ）
PRブース出展 （あつぎ国際大道芸2017）	11月11日（土） 11月12日（日） （約1,000人）	厚木中央公園 （市町村との共同事業：厚木市）
かながわラグビーフェスタ in海老名	11月19日（日） （約800人）	海老名中央公園 （市町村との共同事業：海老名市）
初心者向けラグビートップ リーグ観戦バスツアー	12月16日（土）	ニッパツ三ツ沢球技場

注 「日程」中に記載した人数は参加者数

エ ラグビーワールドカップ2019™試合日程の発表

ラグビーワールドカップ2019™決勝戦の2年前にあたる平成29年11月2日に、大会の全48試合の試合日程及び会場が決定し、横浜国際総合競技場では決勝、準決勝2試合を含めて7試合が開催されることとなった。

〈横浜国際総合競技場での開催試合〉 【決勝戦、準決勝2試合、プール戦4試合】

No.	日程	キックオフ	試合
1	9月21日（土）	18:45	ニュージーランド 対 南アフリカ
2	9月22日（日）	16:45	アイルランド 対 スコットランド
3	10月12日（土）	17:15	イングランド 対 フランス
4	10月13日（日）	19:45	日本 対 スコットランド
5	10月26日（土）	17:00	準決勝 1
6	10月27日（日）	18:00	準決勝 2
7	11月2日（土）	18:00	決勝



## (2) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた主な取組み

### ア 経過

江の島でのセーリング競技開催に向けた準備を円滑に進めるため、県では、平成29年5月31日に合意された「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の役割（経費）分担に関する基本的な方向について」に基づき、必要な恒久施設の整備を進めるとともに、既存艇利用者や漁業関係者、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会（以下「組織委員会」という。）との調整を行っている。

また、セーリング競技をはじめとした東京2020大会の機運醸成、普及啓発に向けた取組み及び事前キャンプの誘致を進めている。

なお、平成29年台風第21号の高潮・高波により、駐車場の一部に被害があったが、湘南港の施設に大きな被害はなかった。

### イ セーリング競技関係

#### (ア) 組織委員会との現在の調整状況

##### a 日程及び既存艇移動に関する調整状況

時期	大会名	開催方法及び日程	調整状況等
平成30年	セーリングワールドカップシリーズ江の島大会	・オリンピックのテストを兼ねて実施 ・開催時期は平成30年9月9日(日)～9月16日(日)	・原則江の島島外への移動はしない ・移動期間を2週間程度に短縮することを検討中
平成31年	テストイベント セーリングワールドカップシリーズ江の島大会	両大会を兼ねて、または近接させる方向で調整中	調整中
平成32年	セーリングワールドカップシリーズ江の島大会	調整中	調整中
	オリンピック本大会	7月24日～8月9日の間で実施	全艇を島外に移動する方向で調整中

##### b レースエリアに関する調整状況

平成29年11月7日に、組織委員会から漁業関係者に対して、大会のレースエリアの案等について説明し、意見交換を行った。＜「別添資料」参照＞

##### c 輸送・交通対策に関する検討

大会関係者や観客等の円滑な輸送の実現に向け、「2020交通輸送円滑化推進会議(事務局：内閣官房)」が設置され、経済活動への影響も踏まえた交通対策について、組織委員会、東京都、関係自治体等が一体となって検討を進めている。

##### d 女性センター跡地の利活用

オリンピックのテストイベント等開催時には既存艇置場として、また、本大会開催時には仮設建築物用地として利用する。

なお、県有地の有効活用を図るため、民間事業者に貸付し一般観光客用の駐車場（江の島かもめ駐車場）として利用している。

また、敷地の一部を、事前練習を行うために各国チームが持ち込むコンテナの暫定的な置

場として提供した（15ヵ国、25基のコンテナが設置された）。今年度中に基礎工事を実施の上、来年度以降もコンテナ置場として提供する予定。

(イ) セーリング競技の機運醸成及び普及啓発に向けた取組み

a セーリング体験会の実施

江の島ヨットハーバー等において、小・中・高校生や障がいのある方を対象としたセーリング海上体験会を、また、地域住民が多く集まる市民祭り等において、セーリング出張型体験会を実施した。

さらに、藤沢市のテラスモール湘南において、東京2020大会1,000日前イベントでのセーリング陸上体験会を実施した。

<平成29年度実施スケジュール>

種 類	日 程	開催場所
海上体験会	7月16日（日）（40人）、 7月17日（月・祝）（44人）	八景島マリーナ
	7月30日（日）（45人）、 8月10日（木）（46人）、 9月3日（日）（44人）、 10月15日（日）（21人）	江の島ヨットハーバー
	9月23日（土・祝）（27人）	横浜ベイサイドマリーナ
出張型体験会	①6月3日（土）（408人）、 ②8月6日（日）（596人） ③9月23日（土・祝）、24日（日） （1,163人）	①横須賀カレーフェスティバル ②小田原みなとまつり ③藤沢市民まつり
東京2020大会 1,000日前イベントでの陸上体験会	10月28日（土）	テラスモール湘南

注 「日程」中に記載した人数は参加者数

b デジタルサイネージ等を活用した広報

セーリング海上体験会の告知を、駅構内のデジタルサイネージで放映した。

また、セーリング競技の迫力を伝える動画等を、電車内のデジタルサイネージや映画館で上映される広告等で放映した。

<平成29年度デジタルサイネージ等放映スケジュール>

場 所	期 間
京急横須賀中央駅	7月1日（土）～7月31日（月）
テラスモール湘南	10月1日（日）～10月28日（土）
小田急線車内	10月9日（月・祝）～10月28日（土）
横浜ブルク13	10月7日（土）～10月28日（土）
109シネマズ湘南	
TOHOシネマズ小田原	

c 海外セーリングチームとの交流イベント

江の島で練習を始めている海外チームと県民との交流事業を実施した。

<平成29年度交流事業>

日程	参加国	交流対象者	内容
10月12日 (木)	フランス	鎌倉市立大船保育園児 県立鎌倉高等学校生徒	フランス人選手を鎌倉市立大船保育園、県立鎌倉高等学校に招き、それぞれ園児、生徒との交流を実施。(鎌倉市共催)
10月25日 (水)	アメリカ	湘南白百合学園小学校児童	児童による新聞づくりとして、アメリカ選手へのインタビューを実施。(藤沢市共催)
10月28日 (土)	イギリス、アメリカ、ニュージーランド、オーストラリア、スウェーデン、インド等	湘南港既存艇利用者	利用者と海外選手との記念撮影会及び江の島オリンピックウィークのレセプションパーティで交流

※その他、神奈川版ラジオ体操動画に海外選手の参加をいただいた。

d セーリング ワールドカップシリーズ江の島大会開催に向けた取組み

平成29年11月14日、競技団体が中心となり、知事を名誉会長として、藤沢市内関係団体、関係市町、県等からなる実行委員会が設立された。今後、ワールドカップ開催を通じて、セーリング競技の盛り上げにつなげていく。

ウ 東京2020大会全体の機運醸成等に向けた取組み

(ア) フラッグツアーの実施

平成29年9月3日(日)に、神奈川県庁本庁舎正面玄関前においてフラッグ歓迎イベントを開催した。

また、9月4日(月)から11月6日(月)まで約2ヶ月間をかけて、オリンピックフラッグ及びパラリンピックフラッグが県内全市町村を巡回した。

(イ) 東京2020大会1,000日前イベント及びセーリング陸上体験会(再掲)

オリンピック開催まで1,000日前となる10月28日に、オリンピック・パラリンピックを盛り上げ、あわせてセーリングの陸上体験ができるイベントを実施し、大会に向けた機運醸成を図った。

日程：平成29年10月28日(土)

会場：テラスモール湘南(藤沢市)

来場者数：約5,500人

エ 事前キャンプ誘致の取組み

(ア) 県内における事前キャンプ誘致の状況

神奈川県内では、平成29年12月現在、県及び5市3町3団体が、6カ国と事前キャンプに関する協定等を締結している。

県では、引き続き市町村と連携し、事前キャンプの更なる誘致に向けた取組みを進めていく。

<県内における事前キャンプ誘致の状況>

	協定等締結年月	団体名	相手国
1	平成27年 9月	県、小田原市、箱根町、大磯町、星槎グループ	エリトリア国
2	平成28年 2月	横浜市、川崎市、慶應義塾大学	英国
3	平成28年10月	県、平塚市	リトアニア共和国
4	平成29年 4月	県、小田原市、箱根町、大磯町、星槎グループ	ブータン王国
5	平成29年 6月	相模原市 (※)	ブラジル連邦共和国
6	平成29年 7月	葉山町、大同生命保険 (株)	英国(セーリングチーム)
7	平成29年10月	小田原市	モルディブ共和国

※ ブラジル連邦共和国オリンピック委員会との覚書は、相模原市のほか（公財）日本オリンピック委員会（JOC）、埼玉県、新座市、立教学院、東京都中央区、江東区、大田区との間で締結。

(イ) 県内における「ホストタウン」の登録状況

神奈川県内では、平成29年12月11日現在、県及び6市3町が、7カ国の「ホストタウン」として正式に登録されている。

<県内における「ホストタウン」の登録状況>

	登録年月	登録団体名	相手国
1	平成28年 1月	○県、小田原市、箱根町、大磯町	エリトリア国、ブータン王国 (※)
2		横浜市	英国
3		川崎市	英国
4		○平塚市、県	リトアニア共和国
5		厚木市	ニュージーランド
6	平成29年 7月	小田原市	モルディブ共和国
7		葉山町	英国
8	平成29年12月	相模原市	ブラジル連邦共和国

注 ○印は、申請主体

※ ブータン王国は、平成28年12月に追加登録された。

オ 平成29年台風第21号による被害状況及びその対応

平成29年10月23日未明、台風第21号の高潮・高波の影響により、オリンピック会場となる湘南港では、ディンギー4艇の流出、南防波護岸のフェンスの一部破損、ヨットハウスの床上浸水などの被害があった。

江の島かもめ駐車場では、アスファルト舗装が剥がれたが、駐車場事業者が補修工事を行い、10月中に一部営業を再開し、11月23日には全面営業を再開した。

また、コンテナ置場内の2基のコンテナが隣接する道路へ流出したが、即日復旧作業を行った。

こうした被害状況については、組織委員会と情報共有し、オリンピックに向けての安全対策等について検討を進めることとした。

(3) 第73回国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会について<「参考資料」参照>

第73回国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会については、平成28年11月に公益財団法人日本体育協会及び文部科学省から開催決定を受けた。

その後、同年同月に設立した「第73回国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会実行委員会」において、大会テーマ及びスローガン等を決定し、現在、平成30年1月28日からの円滑な開催に向けて準備を進めている。

## 2 県の負担金を財源とする補助金に係る神奈川県レスリング協会による不適正経理処理について

平成29年9月、県の国民体育大会等関連事業費の負担金を主たる財源として、公益財団法人神奈川県体育協会（以下「県体協」という。）から県内競技団体に交付している、競技力向上対策事業補助金（以下「補助金」という。）に関して、神奈川県レスリング協会（以下「レスリング協会」という。）の選手強化費の管理者である元役員（県立高等学校教員。以下「元担当役員」という。）が不適正経理処理を行っていたことを確認した。その後、県では不適正経理処理額と使途について調査を実施してきたが、最終的に金額は969万余円に上り、その一部がプールされていた事実が明らかになった。

県は、今後、調査により不適正経理処理が確認された補助金について、県体協に対して負担金の返還を求めるとともに、更なる再発防止策の徹底を図っていく。また、県体協においても、競技団体に対する再調査を実施する。

### (1) 不適正経理処理の額等

#### ア 不適正経理処理額

県体協からレスリング協会に対して交付した、平成23年度から平成28年度までの6か年度間の補助金総額1,127万円のうち、192件・計969万4千円。

#### イ 不適正経理処理の内容

不適正経理処理の内容は次のとおり。

##### (ア) 謝金（159件 727万7千円）

元担当役員が、領収書を自ら偽造又は指導者（県立高等学校教員等。以下同じ。）から白紙の領収書を提出させ、実際には支払っていない指導者謝金を支払ったと虚偽の実績報告をしていた。

##### (イ) 交通費（27件 146万円）

強化合宿におけるバス借上代を、参加者から徴収していたにもかかわらず、補助金で全額支払ったと虚偽の実績報告をしていた。また、公共交通機関で強化合宿又は強化練習に参加した選手・指導者に支払ったとされる交通費が、実際には支払われていなかった。

##### (ウ) 宿泊費（6件 95万7千円）

強化合宿における宿泊費を、参加者から徴収していたにもかかわらず、選手強化費で全額支払ったと虚偽の実績報告をしていた。また、実績報告書に記載の宿泊者の中には、実際には宿泊していない者もいた。

#### <不適正経理処理に係る補助金の年度別一覧>

年度	補助金額	不適正経理処理が認められた補助金			
		謝金	交通費	宿泊費	合計
平成28年度	2,850千円	42件 1,989千円	1件 239千円	1件 162千円	44件 2,390千円
平成27年度	2,850千円	34件 1,980千円	1件 268千円	1件 180千円	36件 2,428千円
平成26年度	1,550千円	27件 957千円	10件 249千円	1件 180千円	38件 1,386千円

年度	補助金額	不適正経理処理が認められた補助金			
		謝金	交通費	宿泊費	合計
平成 25 年度	1,350 千円	21 件 807 千円	4 件 231 千円	1 件 180 千円	26 件 1,218 千円
平成 24 年度	1,320 千円	21 件 807 千円	4 件 220 千円	1 件 180 千円	26 件 1,207 千円
平成 23 年度	1,350 千円	14 件 737 千円	7 件 253 千円	1 件 75 千円	22 件 1,065 千円
計	11,270 千円	159 件 7,277 千円	27 件 1,460 千円	6 件 957 千円	192 件 9,694 千円

ウ 不適正経理処理に係る補助金の使途

元担当役員が不適正経理処理で得た補助金の一部は、現金でプールされていた。

その他の補助金は、指導者への謝金等、テーピング用テープや医薬品、飲料等の物品購入及び元担当役員自身のレスリング協会に関する用務の交通費等に充てていたと、元担当役員は説明している。

しかし、これらの内、指導者への謝金等については、関係者からの証言等により一定の支払いの事実を確認できたが、物品の購入費や交通費等は支出の実態を証明する書類等や証言を得ることができなかった。

<不適正経理処理に係る補助金の使途の内訳>

項目	金額
1 現金でプールされていたもの	3,000 千円
2 一定の支払いの事実を確認できたもの（指導者への謝金等）	2,031 千円
3 支払いの事実を確認できなかったもの（物品購入、元担当役員の交通費等）	4,663 千円
計	9,694 千円

エ 不適正経理処理が行われた背景

レスリング協会には会計規程がなく、補助金に係る経理処理は元担当役員が独断で処理しており、かつ、他者のチェックが入らない状況にあった。

(2) 不適正経理処理への対応及び再発防止策等

ア 県の対応

(ア) 県体協に対する負担金の返還請求

不適正経理処理額について、県体協に対し当該分の県負担金の返還を請求する。（返還日までの加算金についても請求する。）

(イ) 県体協における再発防止策の取組みの確認

再発防止の取組状況について県体協に報告を求めていくとともに、県体協による補助金交付団体に対する再調査に対し、調査状況の進捗を確認しながら、必要に応じて連携していく。

(ウ) 県独自のコンプライアンス相談窓口の周知

本件事案を契機に県スポーツ局スポーツ課に設置したコンプライアンス相談窓口について、競技団体等に対し、一層の周知を図り不適正事案の早期発見及び抑止を図る。

## イ 県体協の対応

### (ア) レスリング協会への補助金の返還請求

県に返還する負担金及び加算金相当額を、レスリング協会に対し返還を求める。

### (イ) 今回の事案を踏まえた再調査の実施

レスリング協会を除く 40 団体について、すでに出納簿や領収書等の確認は済んでいるが、これまで会計規程が未整備であった団体等について、詳細調査を実施する。

### (ウ) 適正な事務執行体制整備に向けた指導

会計規程は全団体で整備したが、引き続き補助金交付団体に対し、経理担当者の複数人化など適正な事務執行体制の整備に向けた指導を行う。

### (エ) 補助制度の周知等

選手、保護者等に対する選手強化費等の補助制度の周知や「暴力行為・コンプライアンス相談窓口」を周知するための相談カードの作成等にも引き続き取り組み、再発防止に向けた指導を徹底する。

## ウ レスリング協会の対応

事案の終結に併せ、会長、副会長及び副理事長 1 名は、本件の責任を取って当該役職を辞任する予定。また、元担当役員についても協会登録を永久禁止にする予定。

## <参考 1> 神奈川県高等学校体育連盟レスリング専門部の不適正経理処理

レスリング協会の不適正経理処理に県立高等学校教員が関与したことから、県教育委員会と神奈川県高等学校体育連盟（以下「高体連」という。）が高体連レスリング専門部の経理処理について調査を行ったところ、経費の内、県補助金（県教育委員会から高体連への優秀選手強化事業等に係る補助金）については適正に処理されていたが、その他の団体経費の処理について、その一部に不適正な取扱いが判明した。

その後、県教育委員会と高体連では不適正経理処理の内容等について調査を実施してきたが、最終的に不適正経理処理の金額は 922,030 円となった。

なお、その他の全専門部の経理処理について点検・調査を行ったところ、不適正な経理処理は認められなかった。

県教育委員会と高体連は、再発防止策を取りまとめ、その徹底を図っていく。

### 1 内容等

高体連レスリング専門部の会計担当の県立高等学校教員が、平成 21 年度から平成 28 年度までの 8 年間の団体経費の総額 6,020,156 円の内、922,030 円（44 件）について、虚偽の旅費伝票を作成し、関係者の昼食弁当代等に充てた。

### 2 今後の対応

#### (1) 再発防止策

##### ア 高体連

- ・ 高体連レスリング専門部については、委員長と会計担当者を交代させ、会計担当者は複数配置とした。
- ・ 高体連事務局に経理処理に関する通報窓口を設置し、周知を図る。
- ・ 外部の専門家による監査を毎年実施するとともに、専門家からの意見を伺い、監査システム等について助言を受ける。

##### イ 県教育委員会

- ・ 保健体育課内に高体連の経理処理に関する通報窓口を設置し、周知を図る。
- ・ 高体連による再発防止策が徹底されるよう、指導監督する。

#### (2) 人事上の措置

県教育委員会としては、レスリング協会事案も含め、関係教員に厳正に対応する。

## ※ 神奈川県高等学校体育連盟

- ・ 高等学校における体育の健全な発展を図ることを目的に、県内の公私立の高等学校で組織された団体。

- ・ 陸上競技、水泳、バレーボールをはじめ 37 の競技専門部を置く。レスリング専門部は、その内の一つ。

## <参考 2> これまでの経緯及び補助金の概要と交付の流れ

### 1 これまでの経緯

《県体協への内部通報》

平成 29 年 3 月 17 日

県体協に、レスリング協会内部関係者から、元担当役員が補助金を不正に受給している旨の報告書が郵送された。

《県体協による調査》

平成 29 年 3 月 19 日～5 月 3 日

県体協は、レスリング協会への補助金の主な使途となっている指導者謝金が、実績報告書のとおりを支払われていたか、アンケート調査等により確認を行ったが、元担当役員及び指導者が事実を隠蔽したため、不適正経理を確認することができなかった。

《県体協による県への報告》

平成 29 年 5 月 23 日

県体協は、レスリング協会の補助金は適正に執行されていた旨の調査結果を県に報告した。

《知事への匿名の投書》

平成 29 年 7 月 20 日

知事あてに、元担当役員が補助金を不正に受給しているとの匿名の投書が届いた。

《県・県教委による調査》

平成 29 年 7 月 26 日

県及び県教育委員会は、レスリング協会の補助金が適正に使われているか調査を開始した。

《県による調査状況の発表》

平成 29 年 9 月 25 日

レスリング協会による不適正経理処理の調査状況について、記者会見を行った。

### 2 補助金の概要と交付の流れ

#### (1) 補助金の概要

##### ア 目的

神奈川の競技力向上を推進するため、競技団体が行う選手強化を図るための事業を支援する。

##### イ 交付団体

県体協加盟団体のうち、国民体育大会に選手を派遣している競技団体（41団体）

##### ウ 対象経費

- ・ 強化練習等の指導者への謝金
- ・ 強化練習等に参加した指導者及び選手等の旅費（交通費、宿泊費）
- ・ 練習会場及び会議室等の借上げ料 等

#### (2) 補助金交付の流れ

県体協から各競技団体に補助金が交付され、各競技団体から選手・指導者、宿泊施設等に経費が支払われる。

レスリング協会では、選手強化費の管理者である元担当役員に一旦支払われ、この役員から選手・指導者等に支払われており、補助金の管理はこの役員が一人で行っていた。

